

ユーザーズ マニュアル ITL-319xBT ワイヤレス バーコードリーダー



株式会社アイテックス

April. 18, 2012 Version1.2 2012.09 Rev1.2 本製品は、EN55022および47、CFRパート2、FCCパート15に 準拠するクラスAコンピューティングデバイスの規制に適合することが実証され ています。これらの規制は、居住地域に設置したときの干渉や混信を適切に防止 する目的で規定されています。

本製品は、商用環境で使用することを目的としていますが、本製品をラジオや テレビの近くで使用すると受信障害を引き起こすことがあります。また、住宅環 境で使用した場合も本製品をラジオやテレビの近く使用すると受信障害を引き起 こすこがあります。本製品が障害を引き起こしているかは、本機をオン、オフす ることで確認できます。

ユーザは、下記の手段の1つ以上により受信障害を解消するようにしてください。

- 1. 受信アンテナの向や位置を調整します。
- 2. 本製品と受信機を離します。
- 3. 本製品または受信機のコンセントを別にします。

本製品必ずマニュアルに従ってご使用ください。

本製品は、CE規格に適合しています。これらの標準に適合するためにはCE マークのあるACアダプタが使用されるべきであることに注意してください。

本製品の使用誤り、故障、その他不具合による損害、接続している機器の付帯 的あるいは間接的な損害については、法令上認められる場合を除き、一切その責 任を負いませんのでご了承ください。

本マニュアルをZEBEX INDUSTRIES INCの許可なく任意の手段によって、複製、 転載することを禁止します。

本マニュアルは改良のため予告なく変更することがあります。

本マニュアル中の全ての商標、固有名詞は各社の商標、または登録商標です。

Copyright © 2011. by ZEBEX INDUSTRIES INC.

お知らせ
2 烟匀内容 2
2. 個已的音····································
3. 石中の石小
4. 兀电池の取り付け
5. 允電の方法
6. クレートルの接続方法
7. スキャナとクレードルのペアリング
8. スキャナのページング13
9. スキャンモード13
10.データ送信モード14
 11.ビープ音、LEDインジケータ15
12 + 32 + 32 + 32 + 32 + 32 + 32 + 32 +
1.3 初期設定值
4. パーコート設定ノーユー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
シス)ム度達
イング シェイス 20
クレードルホストモード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・??
USBオンラインモード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
BT HIDE-F
BT SPPマスタ/スレーブモード・・・・・・・・・23
データ転送モード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25
無線通信プロトコルパラメーター・・・・・・・・・・・・・・・・・26
スリープ時間・・・・・27
同一コード読み取り間隔・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29
読み取り成功時ビーブ音・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30
ビーブ音・・・・・30
又字間ティレイ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・31
メッセーン间ティレイ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・31
RSZ3ZCI/F
$\gamma = \gamma =$
Codabar
Code 3 9 ······41
C o d e 1 2 8 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
中国郵便コード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
MSI/Plessy46
C o d e 1 1 · · · · · · 48
I T F (Interleaved2of5)49
Standard2of551
Industrial2of552
$UPC/EAN/JAN\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots$
Telepen
Matrix 2 of 5 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
GS1DataBar60
$\Box = P I U \cdots \cdots$
ハッダー/ トレーフー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
設定用ノルド人ナーハーコート
設定用数子ハーコート
アスキーコード表
キーボードコード表
コードID表

1. はじめに

ITL-319×BTは、ガンタイプの最新スキャンエンジンを搭載したバーコードスキャナです。Bluetooth無線モジュールを内蔵し、ケーブルの長さを気にする必要のない携帯性でスキャンされたデータは、リアルタイムでデータ転送され、作業効率の改善を可能にします。

海運業、貨物倉庫、スーパーストア、薬局、または大規模な製造サイトなど 多くのオープンスペースで自由に動き回れる快適さを提供します。

専用クレードル(充電&無線受信機)、Bluetoothドングル、Bluetoothワイ アレステクノロジーを持つすべての機器と通信が可能です。(注1)

100mの通信範囲内でスキャンされたすべてのデータは直ちに接続されたPCに転送されます。

ITL-319×BTは、ハンドヘルドモードまたはハンズ・フリーモード のどちらでも、スキャンされたデータは、高精度で信頼できる読み取り能力を 提供する信頼されたツールになるでしょう。

(注1 すべてのBluetooth製品との接続を保証しているものではありません。)

2. 梱包内容

梱包箱を開けて下記内容を確認してください。 不足や輸送中の破損があったときはご購入の販売店にご連絡ください。

- 1. スキャナ本体
- 2. クレードル本体(充電&無線受信機)
- 3. ACアダプタ+ミニUSB電源ケーブル
- 4. インタフェースケーブル(USB/キーボード/RS232C)
- 5. 専用充電池
- 6. 本マニュアル

3. 各部の名称



【クレードル】



4. 充電池の取り付け



ネジを回しチャップを外します。充電池パックを挿入します。



充電池パックが奥まで挿入されている事を確認して、キャップを取 り付けネジを締めます。



5. 充電の方法

【USBセットの接続方法】



- 上図を参照しUSBインターフェイスケーブルをクレードルのRJ-45コネ クタに接続し("カチッ"とクリック音がするまで奥に差し込みます) 、反対側をPCのUSBポートに接続します。 電源ケーブルをクレードルのミニUSBコネクタに接続し、反対側のACア ダプタをコンセントに接続します。
- 2. 充電池をセットしたスキャナ本体をクレードルにセットしてくだ さい。正常にセットできた時にはショートビープ音が鳴り充電が開始 されます。



※本体を直接充電する場合 電源ケーブルをスキャナのボトム のミニ USB コネクタに接続して充 <u>電しま</u>す。充電時間は約6時間で



【充電について】

スキャナのLEDが緑の点滅の時は充電中を示し、緑の点灯の時はフル充電になったことを示します。(<u>11.ビープ音、LEDインジケータ</u>も参照ください。)

充電池の寿命は充電回数に依存します。スキャナをクレードルにセットする だけでいつでも自動的に充電します。

- クレードルでの充電は時間は約4.5時間です。
- フル充電になるとおよそ40時間動作します。
- 推奨される充電の温度環境は、0℃~35℃です。

6. クレードルの接続方法

スキャナはクレードルとペアで動作します。スキャナはバーコードを読むと バーコードデータは、クレードルに無線通信され、クレードルは接続したイン タフェースケーブルによってホストにバーコードデータを送信します。

次のステップでクレードルとホストを接続します。

- インタフェースケーブルをクレードルのRJ45コネクタに接続してください。
 「カチッ」とクリックがするまで奥に差し込みます。そして反対側のコネクタをホストと接続してください。
- USBインタフェースやキーボードインタフェースの場合は、ホストが十分なパワーを持っているならば、ACアダプタなしで動作は可能です。
 しかし、バッテリに充電するためにはACアダプタは必要です。

【注意】

ACアダプタを接続した場合は、ホスト(5V)からの電源は無視されます。

- RS-232Cインタフェースでご使用の場合は、ACアダプタの接続は 必須です。ミニUSBコネクタに差し込んでください。
- 4. クレードルに電源が供給されるとLEDは赤から青色の点滅に変わります。 LEDが青色の点滅時はホストとの接続待ち状態を示します。スキャナと クレードルがペアリングしている状態ではLEDは青く点灯したままにな ります。

7. スキャナとクレードルのペアリング

ITL-3190BTでは4つコミュニケーションモードをサポートしま す。

- クレードルホストモード
- SPP スレーブモード
- SPP マスターモード
- HIDモード

7-1 クレードルホストモード

クレードルとセットで動作する出荷時のモードです。箱から出してすぐに動 作するようになっていますが、長期保管や万が一ペアリングされない状態にな っている場合は下記の手順により再度ペアリングをしてください。



1) クレードルに電源が供給されるとLEDは赤から青色の点滅に変わります。 LEDが青色の点滅時はホストとの接続待ち状態を示します。



- 2)「設定開始」→「クレードルホストモード有効」→「設定終了」の順でバーコードを読み取ります。スキャナのLEDが速い青の点滅状態となります。次に、クレードル底面の「Bluetoothアドレスラベル」のバーコードを読み取ります。スキャナ本体のLEDが青の速い点滅になりペアリング状態となります。ペアリングが正常に完了するとスキャナからハイ、ローのビープ音が鳴り、その後スキャナのLEDが遅い青の点滅、クレードルのLEDが青の点灯状態となります。
- 3)もしも、クレードルがペアリングロックモードに設定されている場合やス キャナがクレードルホストモードのペアリングに失敗した場合は、スキャ ナは「ピッピッピッ」とエラービープ音を鳴らしLEDは青の速い点滅状態 となります。

【注意】

クレードルホストモードでは、常にスキャナはマスターモードでクレード ルはスレーブモードです。上記のような場合には、ペアリングアンロック モードのバーコードを読んでください。

4) クレードルとスキャナの接続がリンクしている時は、クレードルのLED は青で点灯しています。クレードルとスキャナの接続が何かの理由のタイ ムアウトになったりパワーダウンモードになってリンクしていない時は、 クレードルのLEDは青の点滅でお知らせします。スキャナのトリガボタ ンを1秒以上押すかスキャナをクレードルにセットすると自動的にリンク を再開します。

【注意】

初期設定ではコミュニケーションモードはクレードルホストモードです。 万が一この設定が消えたような場合には、本書により再度クレードルホス トモードの設定を実施してください。

7-2 SPP スレーブモード

このモードでは、スキャナはシリアル-ポート-プロファイル(SPP)によ りホストとリモート接続されます。

<u>USB-Bluetooth-ドングルやBluetooth内蔵PCなどが</u> 必要です。またシリアルポートからデータを取り込む「Com-de-key」 などのアプリケーションも必要になります。 INコードは「12345678」です。



【このモードの接続についてはお問い合わせください。すべての Bluetooth 製品との接続を保証しているものではありません。】

7-3 SPP マスターモード

このモードも、シリアル-ポート-プロファイル(SPP)による接続ですが、 スキャナはマスタモードになります。

USB-Bluetooth-ドングルやBluetooth内蔵PCなどが 必要です。またシリアルポートからデータを取り込む「Com-de-key」 などのアプリケーションも必要になります。 12桁のBluetoothア ドレスおよびPINコードで設定します。



Bluetoothアドレス設定

12桁のBluetoothアドレスを設定します。

例 0011B1345600

"0" "0" "1" "1" "B" "1" "3" "4" "5" "6" "0" "0" のASCIIバーコードを読み取りアドレスを設定します。





設定終了



【このモードの接続についてはお問い合わせください。すべてのBluetooth製品との接続を保証しているものではありません。】

7-4 HIDモード

このモードでは、スキャナはヒューマンインターフェイデバイス(HID)によ りホストとリモート接続されます。

<u>USB-Bluetooth-ドングルやBluetooth内蔵PCなどが必要です。読み取ったバーコードデータはキーボード入力と同じように入力されます</u>。デバイス名は「ZBBT」、PINコードは「12345678」です。



【このモードの接続についてはお問い合わせください。すべてのBluetooth製品との接続を保証しているものではありません。】

【注意】

スマートフォンで接続する場合は下記の順番で読んでください。

8. スキャナのページング

複数台以上の使用では、どのスキャナとクレードルがペアになっているのか わからなくなることがあります。そんな時はクレードルのファンクショント リガボタンを押してください。そのクレードルからペアにセットされたスキャ ナにページング(呼び出し)信号が送信されます。ページング信号を受信した スキャナは3回のビープ音と青のLEDを3回点灯し応答します。ペアにセッ トされたスキャナが通信圏内にない場合などは応答することができません。

9. スキャンモード

ITL-3190BTは下記の2つのスキャンモードで動作します。



クレードルにセットしハンズフリーで自動的に読み取ります。

10. データ送信モード

ITL-3190BTは次の4つのデータ送信モードから1つを選択しま す。

10-1 ノーマル モード(初期値)

このモードでは、通信圏内にスキャナがあるときに読み取ったバーコード データは、ビープ音の発生によりホストに送信されたことを知らせます。ス キャナが圏外の場合は4回のハイビープ音でエラーであることを知らせま す。ノーマルモードではデータはストア(一時的メモリ)されません。

10-2 アウトオブレンジ モード

このモードでは、圏外で読み取ったバーコードデータをストアできます。 スキャナが圏外の場合に青いLEDの遅いフラッシュで知らせます。バーコ ードを読み取ると圏外のため4回のハイビープ音でエラーであることを知 らせますがデータはストアされます。

通信圏内にスキャナが戻ってくると接続状態になります。接続状態になる とストアされたデータは自動的に送信されます。 ストアされたデータを送信しているときは中音のビープ音で知らせます。

10-3 スタンダードバッチモード

このモードでは、通信圏内でも圏外でもスキャナで読み取ったバーコード データはすべてストアされます。ストアされたデータは「バッチデータ送信」 バーコードを読み、トリガボタンを1秒以上押すことでホストに送信されま す。

10-4 クレードルセットバッチモード

読み取り動作はスタンダードバッチモードと同じです。このモードでは、 スキャナをクレードルにセットし、トリガボタンを1秒以上押すことでスト アされた読み取りバーコードデータをホストに送信します。 【スキャナLEDインジケータ】



LI	ED	ステータス
グループ2	グループ1	
	青点滅	ペアリング待機状態(間隔 0.5s : 0.5s).
	青速い点滅	ペアリング中
	青遅い点滅	Bluetooth 正常接続状態(間隔 0.03s : 3s).
青1回点灯		バーコード読み取り完了
青速い点滅		データ転送中
	緑点滅	充電中
	緑点灯	充電完了
赤点灯		プログラミングモード
赤遅い点滅		ローバッテリー
(ビープ音)		
赤2回点滅		ローバッテリー(限界)
(ビープ音2回)		

【クレードルLEDインジケータ】



LED		ステータス
	青点滅	Bluetooth 未接続状態
	赤点灯	AC アダプタ未接続.
	青点灯	Bluetooth 正常接続状態
	赤点灯	AC アダプタ未接続
	青と赤が交互に点灯	USB インターフェイスが未接続
	青点灯	Bluetooth 正常接続状態
	青点滅	Bluetooth 未接続状態.

【ビープ音】

ビープ	ステータス
1回のロングビープ	スキャナ電源オン
1回のビープ	バーコード読み取り時。読み取りデータの送信またはス
	トア(メモリへのセーブ)
1回のハイ・ロー・ハイビー	クレードルのペアリング アドレスバーコード読み取
プ	Ŋ
4回のショートミディアムピ	データ通信異常または無線エリア外.
ープ	
1回のミディアムロービープ	ローバッテリ
2回のミディアムロービープ	ローバッテリ(限界)
1回のショートミデアムピー	スキャナ電源オフ
プ	
1回のロングハイとミディア	プログラミングモード開始
ムビープ	
1回のロングミディアムとミ	プログラミングモード終了
ディアムビープ	

■ 読み取り窓

読み取り窓は常にきれいな状態でご使用ください。エアーで埃を吹き飛ばしたり、柔らかな素材で軽く拭き取るようにします。強く拭いたり硬い素材で拭き取ると読み取り窓を傷つけ読み取り能力が低下します。

アセトン、ベンゼン、エーテルなどの薬品や溶剤を読み取り窓やケースに使 用してはいけません。

■ バッテリィ

充電池の寿命は充電回数に依存します。製品付属の専用充電池の充電回数は 約500回です。

■ インタフェースケーブル

ホストに接続するインタフェースケーブルが破損した場合は交換が可能です。 新しいケーブルは代理店または販売店よりご購入ください。

PCの買い替えなどで接続するインタフェースを変更する場合も、新しいケ ーブルは代理店または販売店よりご購入ください。インタフェースを変更した 場合は、本マニュアルにより新しいインタフェースに設定変更を必ず実施して ください。

13. 初期設定值

無線パラメータ

Bluetoothホスト ペアリングモード データ送信モード 無線プロトコルタイムアウト パワーオフタイムアウト 暗号化 クレードルホスト アンロック ノーマル 5秒 20分 暗号化する 通常は出荷時の設定のままで動作検証し問題がなければそのままご使用ください。

必要な項目のみ設定変更することを推奨いたします。

設定項目の項目がディフォルト設定です。





設定開始

システム関連の設定

スキャナのみ工場出荷状態に戻す

クレードルのみ工場出荷状態に戻す

インターフェースの設定(クレードルホストと通信状態で設定すること) USB(HID)キーボード初期状態に戻す

RS232C初期状態に戻す

PS/2 キーボードウェッジ初期状態に戻す

USB(COM)シリアル初期状態に戻す

 ファームウェアバージョンの表示

中止 (アップデートせずにプログラミングモードを終了する)



20





スキャンモード

トリガモード

設定開始

- オートスキャンモード
- オルタネイトモード
- プレゼンテーションモード

アイドルモード有効

アイドルモード無効









USBオンラインモード

USBオンラインスキャン無効

USBオンラインスキャン有効(無線が切断された場合USB有効)

無線通信を無視してUSBオンラインスキャン (無線が接続されていてもUSB有効)

- BT(Bluetooth) HIDモード
- BT HIDモード有効

BT HIDスマートフォンモード有効

BT SPPマスタ/スレーブモード

SPPマスタモード有効 (接続先アドレス "BxxxxxxxxxxT" Code39 フォーマット)

SPPスレーブモード有効

Bluetooth アドレス設定(SPPマスタ時のみ)

PINコード設定(SPPマスタ時のみ)



SET

設定の保存(アドレスとPINコードの設定) 設定用フルアスキーバーコードで設定する任意の文字列を読み取り 「設定の保存」を読み取り設定します。





ディフォルトデバイスネーム有効

デバイスネーム設定

PINコード削除





24



データ転送モード

標準データ転送 アウトオブレンジバッファ有効 (通信圏外でのバッファメモリ) ビープ音を出しアウトオブレンジデータを再送信する ビープ音を出さないでアウトオブレンジデータを再送信する バッチモード "バッチデータを削除する"をスキャンしてからバッチデー タを消去する バッチデータを削除する バッチデータを送信後クリア バッチデータを送信 USBケーブルが接続されたらバッチデータを送信する クレードルに置いてトリガボタンを押すとバッチデータを送 信する ビープ音を出さないでバッチデータを送信する ビープ音を出しバッチデータを送信する

設定終了



無線通信プロトコルパラメーター
無線プロトコルタイムアウト=3秒
無線プロトコルタイムアウト=5秒
無線プロトコルタイムアウト=8秒
無線プロトコルタイムアウト=10秒
無線プロトコルタイムアウト=13秒
無線プロトコルタイムアウト=16秒

無線プロトコルタイムアウト=20秒



26

USER'S MANUAL

設定開始



5分後スリ-
10分後スリ
20分後スリ
30分後スリ
1時間後スリ
2時間後ス・
4時間後スリ
6時間後スリ
8時間後スリ

- スリープ時間
- ープ
- リープ



スリープなし

強制的にスリープする



リンク時ビープ音有効

リンク時ビープ音無効

スリープから復帰時ビープ音有効

スリープから復帰時ビープ音無効



28

USER'S MANUAL

設定開始



50m
100
200
300
400
500
600
700
800
100
無限

同一コード読み取り間隔

0 m s e c

00msec

2 0 0 m s e c

3 0 0 m s e c

00msec

5 0 0 m s e c

600msec

700msec

8 0 0 m s e c

1000msec



読み取り成功時ビープ音	(音程)
中	
高	
低	
無し	
ビープ音(長さ)	
長音	
標準	
短音	
超短音	
超長音	



30





0 m s 2 m s 5 m s 1 0 m s

文字間ディレイ

2 0 m s

5 0 m s

メッセージ間ディレイ



0 m s

100ms

500ms

1000ms





RS232C設定 通信速度
1 1 5 2 0 0
19200
9600
4800
2400
1200
RS232C設定 パリティ
Even
O d d
Mark
Space




RS232C設定 ストップビット

1ビット

2ビット

RS232C設定 データ長

7ビット

8ビット



設定終了

Copyright(c) 2012 ITECS CORPORATION All right reserved





34

RS232C設定 ハンドシェイク

なし

ACK/NAK

Xon/Xoff

RTS/CTS

<BEL>キャラクタでビープ音を出す有効

<BEL>キャラクタでビープ音を出す無効

ACK/NAKレスポンスタイム300ms

ACK/NAKUスポンスタイム2sec

ACK/NAKレスポンスタイム500ms

ACK/NAKレスポンスタイム3sec

ACK/NAKレスポンスタイム1sec

ACK/NAKレスポンスタイム無限

設定開始



 R S 2 3 2 C 設定 終端文字

 なし

 C R/L F

 C R

 L F

 T A B

 S T X/E T X

 E O T



キーボードウェッジ設定
IBM PC/AT/PS/2 キーボードエミュレーション
インターナショナルキーボードモード(ALT method)
キーボード言語 米国(USA)
キーボード言語 英国(UK)
キーボード言語 ドイツ(GERMANY)
キーボード言語 フランス (FRENCH)
キーボード言語 スペイン(SPANISH)
キーボード言語 イタリア(ITALIAN)
キーボード言語 スイス(Switzerland)
キーボード言語 ベルギー(Belgium)
キーボード言語 日本(Japanese)
キャプスロックオン
キャプスロックオフ
設定終了



36



キーボードウェッジ設定

ファンクションキーエミュレーション有効

ファンクションキーエミュレーション無効

数字を通常データとして送信

数字をキーパッドのデータとして送信

キーボードウェッジ設定 終端文字



なし

Enter

ТАВ







キーボード言語 スペイン(SPANISH) キーボード言語 日本(Japanese) キーボード言語 イタリア(ITALIAN) USBインターフェイス設定 終端文字 なし Enter

キーボード言語

キーボード言語

キーボード言語

USBインターフェイス設定

米国(USA)

インターナショナルキーボードモード(ALT method)

ドイツ(GERMANY)

フランス(FRENCH)

ТАВ



設定開始







Codabar 有効 Codabar 無効

Codabar (NW-7)パラメータ設定

Codabarスタート/ストップキャラクタ送信しない

Codabarスタート/ストップキャラクタ送信 A, B, C, D

Codabarスタート/ストップキャラクタ送信 DC1~DC4

C o d a b a r スタート/ストップキャラクタ送信 a / t , b / n , c / * , d / e

Codabar最大桁数設定

Codabar 最小桁数設定

設定を保存する(最大/最小桁数の設定) 設定用数字バーコードで設定する任意の数字を読み取り 「設定の保存」を読み取り設定します。

Codabarチェックキャラクタなし

モジュロ16計算 チェックキャラクタ送信しない

モジュロ16計算 チェックキャラクタ送信する



Codabar(NW-7)パラメータ設定

照合回数	0回	
照合回数	1回	
照合回数	2回	

照合回数 3回



40



Code39パラメータ設定
Code39有効
Code39無効
C o d e 3 2 有効
C o d e 3 2 無効
照合回数 〇回
照合回数 1回
照合回数 2回
照合回数 3回
スタンダードC o d e 3 9
フルASCIICode39
スタート/ストップキャラクタ送信する
スタート/ストップキャラクタ送信しない

設定終了







Code39パラメータ設定

チェックデジットチェック チェックキャラクタ送信する

チェックデジットチェック チェックキャラクタ送信しない

チェックデジットチェックなし

Code39最大桁数設定

Code39最小桁数設定

設定を保存する(最大/最小桁数の設定) 設定用数字バーコードで設定する任意の数字を読み取り 「設定の保存」を読み取り設定します。

Code39(Italian pharmacy) "A" キャラクタを送信する

Code39(Italian pharmacy) "A"キャラクタを送信しない





	Code93パラメータ設定
	Code93有効
	Code93無効
	照合回数 0回
	照合回数 1回
	照合回数 2回
	照合回数 3回
	Code93最大桁数設定
	Code93最小桁数設定
SET	設定を保存する(最大/最小桁数の設定) 設定用数字バーコードで設定する任意の数字を読み取り 「設定の保存」を読み取り設定します。
	チェックデジットチェック チェックキャラクタ送信しない
	チェックデジットチェックせず チェックキャラクタ送信し ない
	チェックデジットチェック チェックキャラクタ送信する
	設定終了

SET

り設定します。

設定開始



44



	中国郵便□	1 — F
	中国郵便二	1 — F
	照合回数	0回
	照合回数	1 🖸
	照合回数	2回
	照合回数	3回
	中国郵便=	1 — K
	中国郵便□	1 — K
SET	設定を保存 設定用数字/	マする

中国郵便コードパラメータ設定

有効

無効

最大桁数設定

最小桁数設定

(最大/最小桁数の設定) ードで設定する任意の数字を読み取り 「設定の保存」を読み取り設定します。





	MSI/Plessyパラメータ設定
	MSI有効
	MSI無効
	照合回数 〇回
	照合回数 1回
	照合回数 2回
	照合回数 3回
	MSI最大桁数設定
	MSI最大桁数設定
SET	設定を保存する(最大/最小桁数の設定) 設定用数字バーコードで設定する任意の数字を読み取り 「設定の保存」を読み取り設定します。
	MSI/Plessy ダブルチェックデジットをチェックするがキャラ クタは送らない
	MSI/Plessy ダブルチェックデジットをチェックしないキャラ クタは送らない
	MSI/Plessy ダブルチェックデジットをチェックする最初のキ ャラクタのみ送る
	MSI/Plessy ダブルチェックデジットをチェックする両方のキ ャラクタを送る
	設定終了





MSI/Plessyパラメータ設定

MSI/Plessy シングルチェックデジットをチェックするがキャ ラクタは送らない

MSI/Plessy シングルチェックデジットをチェックするキャラ クタ送る









Code11パラメータ設定

Code11有効

Code11無効

Code11最大桁数設定

Code11最小桁数設定

設定を保存する(最大/最小桁数の設定) 設定用数字バーコードで設定する任意の数字を読み取り 「設定の保存」を読み取り設定します。

1 チェックデジットチェック

2 チェックデジットチェック

コード長が 10 文字より長い場合、2チェックデジットチェッ ク

チェックデジットチェックしない

チェックキャラクタ送信する

チェックキャラクタ送信しない

48





ITF	有効								
ITF	無効								
ΙΑΤ	A ⊐ -	-ド有	効						
ΙΑΤ	A ⊐ -	-ド無	効						
照合回	数 C) 回							
照合回	数 1	▣							
照合回	数 2	2回							
照合回	数 3	3回							
チェッ	クキャ	[,] ラク	タチュ	ニック	しない	, ۲			
チェッ	クキャ	[,] ラク	タチュ	ニック	する=	キャラ	クタ	送信す	13
チェッ	クキャ	[,] ラク	タチュ	ニック	する=	キャラ	クタ	送信し	ない

ITF (Interleaved 2 of 5)パラメータ設定









ITF(Interleaved 2 of 5)パラメータ設定

- ITF最大桁数設定
- ITF最小桁数設定
- ITF固定桁数設定1
- ITF固定桁数設定2

設定を保存する(桁数の設定) 設定用数字バーコードで設定する任意の数字を読み取り 「設定の保存」を読み取り設定します。

ITF桁可変長



50







Standard 2 of 5 パラメータ設定

Standard 2of5 有効

Standard 2of5 無効

Standard 2of5 最大桁数設定

Standard 2of5 最小桁数設定

設定を保存する(最大/最小桁数の設定) 設定用数字バーコードで設定する任意の数字を読み取り 「設定の保存」を読み取り設定します。

チェックキャラクタチェックしない

チェックデジットチェックするキャラクタ送信する

チェックデジットチェックするキャラクタ送信しない









Industrial 2 of 5 パラメータ設定

Industrial 2of5 有効

Industrial 2of5 無効

Industrial 2of5 最大桁数設定

Industrial 2of5 最小桁数設定

設定を保存する(最大/最小桁数の設定) 設定用数字バーコードで設定する任意の数字を読み取り 「設定の保存」を読み取り設定します。

チェックキャラクタチェックしない

チェックデジットチェックするキャラクタ送信する

チェックデジットチェックするキャラクタ送信しない



設定開始

UPC/EAN/JAN パラ	メータ設定
EAN を ISSN/ISBN に変換	有効
EAN を ISSN/ISBN に変換	無効
UPC/EAN/JAN 有効	
UPC/EAN/JAN 無効	
UPC/EAN/JAN オール有効	
EAN-8 と EAN-13 有効	
UPC-Aと EAN-13 有効	
UPC-A と UPC-E 有効	
UPC-A 有効	
UPC-E 有効	
EAN-13 有効	
EAN-8 有効	
UPC/EAN アドオン無効	





設定開始

UPC/EAN/JAN パラメータ設定
アドオン5のみ
アドオン2のみ
アドオン2または5
UPC-EをUPC-Aフォーマットに変換する
UPC-E を UPC-A フォーマットに変換しない
UPC-A を EAN-13 フォーマットに変換する
UPC-A を EAN-13 フォーマットに変換しない
EAN-8 を EAN-13 フォーマットに変換する
EAN-8 を EAN-13 フォーマットに変換しない
UPC-A チェックデジットを送る
UPC-A チェックデジットを送らない
UPC-E リーディングキャラクタを送る
UPC-E リーディングキャラクタを送らない
設定終了

54

設定開始

UPC/EAN/JAN パラメータ設定
UPC-E チェックデジットを送る
UPC-E チェックデジットを送らない
EAN-8 チェックデジットを送る
EAN-8 チェックデジットを送らない
EAN-13 チェックデジットを送る
EAN-13 チェックデジットを送らない
UPC-A リーディングキャラクタを送る
UPC-A リーディングキャラクタを送らない
アドオンをセパレータで分ける (スペースで分ける)
アドオンをセパレータで分けない
EAN-13 カントリーコード先頭の"O"を送る
EAN-13 カントリーコード先頭の"O"を送らない
EAN-13 最初の"O"ID コードを UPC-A と同じにする



EAN-13 最初の"0" ID コードを EAN-13 と同じにする

EAN-13最初の"O"IDコ-
UPC-A 照合回数 O回
UPC-A 照合回数 1回
UPC-A 照合回数 2回
UPC-A 照合回数 3回
UPC-E 照合回数 O回
UPC-E 照合回数 1回
UPC-E 照合回数 2回
UPC-E 照合回数 3回
EAN-13 照合回数 O回
EAN-13 照合回数 1 回
EAN-13 照合回数 2回
EAN-13 照合回数 3 回
設定終了

56





UPC/EAN/JAN パラメータ設定

EAN-8照合回数 O回

EAN-8 照合回数 1回

EAN-8 照合回数 2回

EAN-8 照合回数 3回

EAN/UPC+アドオン(必須でない)

EAN/UPC+アドオン(必須)

EAN/UPC+アドオン 978/977 ブックランド 読み取り有効 (他のアドオン読み取り不可)

EAN/UPC+アドオン 978/977 ブックランド 読み取り有効 (他のアドオン読み取り可)

EAN/UPC+アドオン 491 新雑誌コード 読み取り有効 (他のアドオン読み取り不可)

EAN/UPC+アドオン 491 新雑誌コード 読み取り有効 (他のアドオン読み取り可)





 Telepen パラメータ設定

Telepen 有効

Telepen 無効

Telepen ニューメリックモード有効

AIM Telepen 有効







Matrix 2 of 5 パラメータ設定

Matrix 2of5 有効

Matrix 2of5 無効

Matrix 2of5 最大桁数設定

Matrix 2of5 最小桁数設定

設定を保存する(最大/最小桁数の設定) 設定用数字バーコードで設定する任意の数字を読み取り 「設定の保存」を読み取り設定します。

チェックキャラクタチェックしない

チェックデジットチェックするチェックキャラクタ送信する

チェックデジットチェックするチェックキャラクタ送信しな い





GS1 DataBar Omnidirectional(RSS-14) パラメータ設定

GS1 DataBar Omnidirectional(RSS-14)グループ

- GS1 DataBar Omnidirectional
- GS1 DataBar Truncated
- GS1 DataBar Stacked
- GS1 DataBar Stacked Omnidirectional

GS1 DataBar Omnidirectional 有効

GS1 DataBar Omnidirectional 無効

GS1 DataBar Omnidirectional チェックデジット送信する

GS1 DataBar Omnidirectional チェックデジット送信しない

GS1 DataBar Omnidirectional アプリケーション ID(01)送信 する

GS1 DataBar Omnidirectional アプリケーション ID(01)送信 しない

GS1 DataBar Omnidirectional EAN-128 エミュレーション有効

GS1 DataBar Omnidirectional EAN-128 エミュレーション無効





GS1 DataBar Limited(RSS Limited) パラメータ設定

GS1 DataBar Limited(RSS Limited)グループ \cdot GS1 DataBar Limited



GS1 DataBar Limited 有効

GS1 DataBar Limited 無効

GS1 DataBar Limited チェックデジット送信する

GS1 DataBar Limited チェックデジット送信しない

GS1 DataBar Limited アプリケーション ID(01)送信する

GS1 DataBar Limited アプリケーション ID(01)送信しない





GS1 DataBar Expanded (RSS Expanded) パラメータ設定

GS1 DataBar Expanded (RSS Expanded) グループ • GS1 DataBar Expanded

· GS1 DataBar Expanded Stacked

GS1 DataBar Expanded EAN-128 エミュレーション有効

GS1 DataBar Expanded EAN-128 エミュレーション無効

GS1 DataBar Expanded チェックデジット送信する

GS1 DataBar Expanded チェックデジット送信しない

GS1 DataBar Expanded アプリケーション ID(01)送信する

GS1 DataBar Expanded アプリケーション ID(01)送信しない



62







コードID設定

コードID無効

標準コードID有効

AIMコードID有効

Code39 コード I D 文字設定

ITF 2of5 コード ID文字設定

中国郵便コード コード ID文字設定

UPC-E コード ID 文字設定

UPC-A コード ID文字設定

EAN-13 コード ID文字設定

EAN-8 コード ID文字設定

Codabar (NW-7) コード I D 文字設定

設定を保存する(コード I Dの設定) 設定用フルアスキーバーコードで設定する任意の1~2文字を読み取 り「設定の保存」を読み取り設定します。

設定開始





Code128 コード ID文字設定

- Code93 コード I D 文字設定
- MSI コードID文字設定

GS1 DataBar Omnidirectional コード I D文字設定

GS1 DataBar Limited コード I D 文字設定

GS1 DataBar Expanded コード I D 文字設定

Industrial 2of5 コード I D 文字設定

Code11 コード I D 文字設定

Standard 2of5 コード I D 文字設定

Matrix 2of5 コード I D文字設定

設定を保存する(コード I Dの設定) 設定用フルアスキーバーコードで設定する任意の1~2文字を読み取 り「設定の保存」を読み取り設定します。



64







読み取りデータ桁数 有効 (2桁表示)

読み取りデータ桁数 無効



ヘッダー(プリアンブル)設定

トレーラー(ポストアンブル)設定

設定を保存する(ヘッダー/トレーラーの設定) 設定用フルアスキーバーコードで設定する任意の1~10文字を読み 取り「設定の保存」を読み取り設定します。

前方データ削除桁数設定

後方データ削除桁数設定

設定を保存する(削除桁数の設定) 設定用数字バーコードで設定する任意の数字2桁を読み取り 「設定の保存」を読み取り設定します。



設定用 フルアスキーバーコード





66

設定用 フルアスキーバーコード





設定用 フルアスキーバーコード





68
設定用 フルアスキーバーコード

d

Т P q t

設定用 フルアスキーバーコード





設定用 数字バーコード





SET	(設)	定を	保存	E)	



アスキーコード表

アスキー(ASCII)コード表								
	0	1	2	3	4	5	6	7
0	NUL	DLE	SP	0	@	Р	`	р
1	SOH	DC1	!	1	А	Q	а	q
2	STX	DC2	"	2	В	R	b	r
3	ETX	DC3	#	3	С	S	с	S
4	EOT	DC4	\$	4	D	Т	d	t
5	ENQ	NAK	%	5	Е	U	е	u
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v
7	BEL	ETB	,	7	G	W	b	w
8	BS	CAN	(8	Н	Х	h	х
9	HT	EM)	9	Ι	Y	i	У
А	LF	SUB	*		J	Z	j	z
В	VT	ESC	+	;	К	[k	{
С	FF	FS	,	<	L	¥	-	
D	CR	GS	-	=	М]	m	}
Е	SO	RS		>	Ν	^	n	~
F	SI	US	/	?	0	-	0	DEL

キーボードコード表								
	0	1	2	3	4	5	6	7
0		テンキー 5	SP	0	@	Р	`	р
1	Insert	F1	!	1	А	Q	а	q
2	Delete	F2	"	2	В	R	b	r
3	Home	F3	#	3	С	S	с	S
4	End	F4	\$	4	D	Т	d	t
5	1	F5	%	5	Е	U	е	u
6	Ļ	F6	&	6	F	V	f	v
7	\leftarrow	F7	,	7	G	W	g	w
8	Back Space	F8	(8	Н	Х	h	х
9	HT/Tab	F9)	9	Ι	Y	i	У
А	テンキー Enter	F10	*	:	J	Z	j	Z
В	\rightarrow	F11	+	;	К	[k	{
С	Page Up	F12	,	<	L	¥	I	
D	Enter	ESC	-	ш	М]	m	}
Е	Page Down	CTRL(L)		>	Ν	^	n	~
F	Shift	ALT(R)	/	?	0	-	0	DEL

ファンクションエミュレーションを有効に設定した場合、網掛け部分のファンクションキーが送信 されます。インターフェイス設定が USB キーボード、キーボードインターフェイス設定時に使用可 能です。

バーコードシンボル	標準コードID		
Code 39	М		
ITF 2 of 5	Ι		
Chinese post code	Н		
UPC-E	E		
UPC-A	Α		
EAN-13	F		
EAN-8	FF		
Codabar (NW-7)	N		
Code 128	К		
Code 93	L		
MSI	Р		
GS1 DataBar Omnidirectional	RS		
GS1 DataBar Limited	RL		
GS1 DataBar Expanded	RX		
Industrial 2 of 5	D		
Code11	0		
Standard 2 of 5	S		
Matrix 2 of 5			

USER'S MANUAL

USER'S MANUAL



〒111-0041 東京都台東区元浅草1-6-13 元浅草MNビル6F tel 03-5246-9420 fax 03-5246-9421 www.j-itecs.co.jp

Copyright(c) 2012 ITECS CORPORATION All right reserved